

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	広島経済大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヒロシマケイザイダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F134310109848
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	広島県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	スポーツビジネス演習Ⅰ(前期)・スポーツビジネス演習Ⅱ(後期)
	学部・研究科等名	経営学部スポーツ経営学科
	担当教職員名・役職	藤口 光紀(スポーツ経営学科教授)・渡辺 勇一(スポーツ経営学科教授)・松永 隆(スポーツ経営学科教授)
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	22
	受入企業等数	11
	受入企業等名	小売、広告、生活関連サービス、その他(一般財団法人、公益財団法人)
	インターンシップの分類	9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ 11.その他
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	スポーツビジネス関連企業・団体に特化したインターンシップ
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	スポーツ経営学科の学生を対象とし、スポーツビジネスを学ぶことを目的としたプログラムである。スポーツビジネス関連企業・団体での現場体験実習を中心とした内容で、スポーツやイベント等の現場で、企画、運営に関わりながら実践力を身に付けることを目標としている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 4単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	スポーツ経営学科選択科目としてスポーツ経営学科の主に2年次生を対象としている。インターンシップ先はスポーツ関連企業・団体に特化し、学科の専任教員3名が、「スポーツビジネス演習Ⅰ」(2単位)で事前学習、「スポーツビジネス演習Ⅱ」(2単位)でインターンシップと事後学習を実施している。スポーツビジネスの現場の理解を深めることで、3年次以降の専門分野の学びに結びつけるとともに職業観を育成する。
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている

要素③		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	インターンシップ期間中に教職員がすべてのインターンシップ先を訪問し、企業担当者を通して、プログラムの進行状況や学生の様子を確認している。
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	事前学習は「スポーツビジネス演習Ⅰ」の講義15回で行っている。内容は①スポーツ産業、業界の研究、②インターンシップ先企業の情報収集、研究、③マナー講座、④マッチングのための個別面談、⑤課題設定、⑥企業の紹介や課題についてのグループ討議・発表、⑦報告書の書き方や研修に関する諸注意である。事前学習では座学に加え、個別指導にも力を入れている。	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	事後学習は「スポーツビジネス演習Ⅱ」の企業研修2回、講義13回で行っている。内容は①企業研修、②インターンシップを終えてのまとめ（全員発表）、③報告書作成、④報告会発表用パワーポイントの作成、⑤授業内での全員発表（1人10分）、⑥発表に対するフィードバック、⑦成果報告会の企画立案、⑧報告会である。事後学習はインターンシップでの気付きや学びを整理するために、教員による個別指導や学びの共有に力を入れている。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ期間中に、教職員がすべての企業担当者を訪問し、学生に対する印象や評価、プログラムの進行状況などを確認している。また、学生と面談できる場合は、成果や学びについて直接話を聞き、必要なアドバイスを行う。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前学習において、課題を設定し発表することでインターンシップ参加の目的や目標を明確にし、事後学習で、成果をまとめた報告書や報告会用資料を作成、成果を発表することで、自身の成長を確認している。また、総まとめとして実施される報告会は履修者全員が役割を担って運営し、インターンシップで学んだ実践力を活かしている。最終的には全員の報告書を一冊の冊子にまとめ関係企業に配付している。
5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい	
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している

要素⑤	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	実施期間5日間から10日間
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ受入依頼の際に原則5日以上就業体験期間を設けていただくようお願いし、事前に企業から提出されたプログラム内容（スケジュール）をキャリアセンターで確認している。受け入れ先企業の多くは5日間での受入だが、多岐にわたる業務が体験できる企業においては10日間程度のプログラムが準備されている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	学生にはインターンシップ期間中に日誌の記入を義務付けている。実習内容やその日の気付きや反省などを記入し、毎日、企業担当者に渡して、コメントやフィードバックをいただいている。また、終了後には、担当者に本学所定の「評定票」を記入していただき、各項目に対する数値での評価やコメントなどを担当教員と学生で共有している。また、期間中に発生した問題はすぐに対応できる協力体制が整っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済
問い合わせ先	大学等名	広島経済大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	小池 剛
	電話番号	082-871-1004
	メールアドレス	qip@hue.ac.jp